

年齢：10歳代（1）・20歳代（12）・30歳代（8）・40歳代（10）・50歳代（18）・60歳代（13）
70歳代以上（4）

職業：医師（9）・歯科医師（0）・薬剤師（1）・看護師（0）・その他の医療従事者（3）・医学生（1）
主婦（6）・教師（8）
その他（農業、シブシブジャパンディストリビューター、まちづくり 8.6ニュース編集人、僧侶、介護ケアワーカー
地方公務員、マッサージ業、年金生活者、自営、会社員、大学生、介護職、大学院生）

1. 本日の講演について

理解が深まり非常によかった・・・（58）
まあまあよかった・・・（4）
期待したほどではなかった・・・（0）
その他（回答なし）・・・（4）

2. 本日の講演会は何でお知りになりましたか

案内チラシ・ポスター・・・（38）
知人の紹介・・・（14）
新聞・・・（1）
テレビ・ラジオ・・・（1）
その他・・・（9）（所属する会からの案内、Coopでの案内、「DAYS」のHP、写真展にて
会員、鹿教組）

3. 本日の講演会について、特に印象に残った事や感想がありましたらお書きください

- ・「はだしのゲン」の中で、ABCCをこの3週間ぐらいに知りました。真実がわかることは、楽になることではないと近ごろつくづく思うようになりました。自分もつくづくどん感なのかとも思ったりします。支配者って、ローマ帝国の支配者と変わらんのかな、病的だ！
- ・世間に流れている情報をただ受け取るだけでは真実が見えてこない、日頃疑問に思っていたこと、本当のところはどうなのかとの思いを明確に見えたように感じます。用心し、自分の頭で考え、できることをするのだと、行動するキッカケとなりました。
- ・私たちと子どもたちの生きる権利を守る為に、知る権利が前提であるということです。
- ・久米島の施設、甲状腺検査、鹿児島でやるにはどうすれば？ 川内原発をかかえているのに！
- ・晩発生のガンについて、より知ることが出来た。
- ・創刊当時から「DAYS」を購読しています。今回の反原発の波も広河さんたちのような方たちが活動し続け、国民に発信し続けて下さったことが大きかったと思っています。暗くなりそうなニュースばかりですが、明るい未来を創るため、自分でできることをこつこつとやってゆきたいです。
- ・核利用を進めるために矮小化された被害、切り捨てられたデータの「1人」が、どんな苦しみのもとにおかれているのか、痛切に感じました。「知る」ことや憲法の大事さを改めて認識することができました。
- ・自分の目で見て行動している人の話程、説得力があるものはないですね。何度も現場に足を運んで、真実を伝えて下さる広河さんのお話を聞けて、今の日本の危機的状況がわかりました。東京にいる家族や友人に、今日の話をお私言葉で伝えようと思います。
- ・淡々とチェルノブイリと福島、スリーマイルなどについて話していただいて、そうだったのかー！ そうなのかー！と思うようなことばかりでした。放射能の影響について、まだ知らないことがあります。知る権利におかれているとおっしゃる広河さん、今後もよろしくお願いします。
- ・被曝によってガンにかかった子どもたちや、異状を示している植物の写真を見て、放射能が怖いと思った。
- ・チェルノブイリ取材での経験を活かされ、被災された皆さんの為に、民間の測定所を作る援助をされている事、子供達の保養所を運営されていることを初めて知りました。「加害者は、必ず被害を隠す」その通りだと共感致しました。今後も、広河様のご活躍を心より願っております。
- ・大変すばらしい講演でした。原発事故の時、東京に住んでいました。ひどい下痢が止まらず、入院をすすめら

- れ、実家の鹿児島に帰ってきました。帰って2日後にピタリと下痢が止まり、原発の恐ろしさを知るためにあらゆる本を読み、学びました。そして、改めて恐ろしさを知りました。「DAYS JAPAN」も購読しています。これからも「原発反対！」の声をあげていきたいと思っています。川内原発訴訟の原告にもなりました！！
- 大手マスコミは都合の悪いことは報道しない、ホントのこと、正しいことは自分で獲得するしかない、改めて感じた。選択すること、判断することが大変難しい時代になってきたと思う。人間は真摯に生きなければ、御用学者、御用ジャーナリズムに振り回されず。
 - とても驚くような内容のお話でした。しっかりと心にきざみこんでおくべきことをたくさん聞くことができとてもよかったです。ありがとうございました。(ただ、広河さんにはお願いですが、早口で話されるので、また、口ごもるようなしゃべり方で、大事なお話がかなり聞きとりづらかったです。ホントに失礼ですが、もう少しゆっくり、そしてはっきり語っていただけるともっともっと理解がしっかりできたと思います。でも、ありがとうございました。)
 - カルテが個人のものでなく、管理者のものだと聞き、カルテは本人に渡すような方向に。ワイパーが必要。ジャーナリストの仕事に誇りを持っている。いつまでも現場報告を
 - IAEAの中身が分かって良かった。(漠然とはおかしいと思っていたが)
 - チェルノブイリで起きていることは、必ず福島で起きると思いました。ABCCの息のかかった長崎大の長瀬氏や山下俊一氏は、重松逸造氏の行った加害者の側にたった判断をしておそろしいことだと思いました。是非とも本当のことを伝えるジャーナリストや医療従事者、そして、私たち自身の行動に期待したい。
 - 国や政府の息のかかった機関、大企業に依存する組織の発表することは、全く信じるができないのだというのを改めて痛感しました。なぜ、このようなことになってしまったのか、とても悲しく思います。もっと自分にできることを積極的に実行していかなければならないと思いました。
 - スリーマイルやチェルノブイリの原発事故の際、日本人を団長とした調査団が「被害を隠ぺいするための調査」をやっていたということに驚き、怒りが湧きました。政府や御用学者・医者が発する言葉を自分の頭でしっかり考え、ウソ・ゴマカシを見抜いていく重要性を感じました。広河さんが現代社会を泥だらけで走る車にたとえられたことが印象に残りました。
 - 日本だけでなく世界中で情報操作が行われていることを知り、驚いたとともに実に残念に思います。これからは一人一人がもっといろいろなことを深く考える、疑ってみる、鵜呑みにし過ぎないことのようにしっかり意識していくことが必要だと思いました。ありがとうございました。
 - 広河さんの真のジャーナリストたらん、という思いを貫く姿勢に感動しました。すばらしい講演でした。チェルノブイリやスリーマイルの事故で、どれほど深刻な被害がもたらされたのか、ということを広河さんの写真とお話で、個々の事態についてリアルに考えることができました。それとともにいかに事故をひきおこしたソ連政府やアメリカ政府、さらにIAEAが被害をおしかくすのか、ということに怒りを込めて感じました。そのウソをたんねんに取材し、明らかにしている広河さんにとってもありがたく思いました。
 - 自分が“ワイパー”になる事が大切という言葉が印象的でした。
 - 御用学者、御用ジャーナリスト、特に福島の医療を牛耳っているのがその者たちであることを知り、恐ろしくなった。まさしくABCCの再来である。
 - 福島大学の内部事情がよくわかりました(証明された)。
 - マスコミを通じてでしか情報を得ていない自分に警鐘を鳴らされました。常に自分たちの判断と行動力で動かれ、情報発信されているパワーに頭が下がります。自分にも何かできる、と信じて行動していきたいです。子どもたちを守るという強烈なメッセージをつきつけられました。デイズジャパンの定期購読はしていますが、今後はもっと読み込んでいこうと思います。
 - スリーマイル島の事故による植物の異変。広河さんの著書やDAYSなどで、常に情報を集めているが、初めて知ったことだった。「情報」は人々の権利。二次情報を受けてばかりじゃ、うわべだけしか得られない。自ら情報を集める主体性を持つべきだと思った。
 - チェルノブイリ、福島の現場を観た人、福島の子どものために働いておられる人から直接話を聞けてよかったと思います。
 - 三か月前から待ちに待っていました。期待通りの講演でした。広河さんでなければ聞けない話だった。
 - 当事者の立場にたつこと、たてることの大きさを感じました。
 - 子ども達の現状を知り、驚きました。
 - 真実を知り、伝えるボランティア活動を通して、活動する必要性を再認識しました。
 - 科学や権力の嘘、痛烈に批判する一方で、心あるジャーナリストや医療従事者を応援している点。広河さんや

DAYS JAPAN の働きに頭の下がる思いがしました。

- 改めて、国への不信感が強まった。何を信用していいのか？決して風化させてはいけない事を思い知った内容でした。
- 真実を知り、伝えること、国の動き、改めて感じさせられました。
- すべて。知らなかった現実を学べた。なぜ、政府は現実・事実を認めないのか、不思議でならない。どうしたら人を動かせるのか！！人の生命にかかわること、皆にもっと知ってほしい。皆に知らせていただきたい。久米島にわたった福島の子どもたちが、大喜びで、裸足になっている映像をぜひナレーター付きで流して欲しい。NHK だけでなく、民放の TV 番組でもこういったドキュメンタリーを伝えるべきと考える。
- ジャーナリストの知る権利を守る取り組みは重要と思う。もっと多くのマスコミがその立場に立ってほしい。広河さんの話は非常にわかりやすく、今後の取り組みの参考になった。
- 死亡者が出るか否かということが問題ではなく、自分を含んだ誰もが原発の被害によって日常的に悩みやストレスを抱えて生きていく苦しみを受けていかねばならないのか・・・と、自らの視点の甘さを思い知りました。特に原発周辺の人々の苦しみは、とても深いことを改めて知らせていただきました。
- ジャーナリストの務めは、人々に知る権利を保障すること。権力者（加害者）は、被害を隠そうとする背後の真実を明らかにするのが務めだということ。理屈でなく、実践（具体性）を通して教えていただきました。解りやすかった。
- 放射能汚染や人体への影響について、今政府や山下俊一などが語っていることが、いかにデタラメかわかり、怒りが湧きました。チェルノブイリで IAEA などが「急性障害」を消し去っていった過程など、今の「フクシマ」と重なって見え、許せませんでした。”真実を知る“ため、政府の権力に立ち向かう姿勢に感動しました。
- IAEA やそれに連なる学者が、チェルノブイリ周辺での小児甲状腺がんの増加を無視してきたことや、今もそうした学者が「安全」と称してキャンペーンをしていることの過程や背景を知れて、とても面白かったです。
- 水俣病等の公害病の時もそうであったが、証拠隠滅のための機関が利用されていることに改めて憤りを感じました。本当の事が知らされない、報道規制されている世の中であることを改めて感じることができました。命を守る医学者が操られている事にも驚きでした。先生の言われた“加害者は被害を隠す”という言葉が印象に残った。
- 積極的、自立的な情報収集の重要性を痛感した。
- 都合の良い報告をする学者の存在
- もう少し（いやもっと）フクシマの現状を語ってほしかった
- 隠されていることがこんなにもあるのかと、わかっているつもりではいたもののやはりショックでした。しかし、ごまかしはいつまでも続くはずがありません。真実に目を向けて、何をすべきか、どのように支援できるか、考えていきたいです。
- 新たな事実を知り、日本の為政者や学者の世界的な犯罪性に落胆しました。一方で、広河さんのジャーナリスト魂を感じました。その姿に接して、日々学習するだけでなく、行動をしなければならない時に来ていると感じました。
- チェルノブイリ、スリーマイルでの放射線障害発生の事実が、どのように隠されたか、情報操作されたか、詳しくお話いただきましたが、ほとんどこういうことが報道されていないことに、改めておそろしさを感じました。求めていかなければ真実を知ることはできないと思いました。
- 日本人の学者が原発関連企業の旗振りをしていたという事実には愕然とした。同時に胸を締め付けられる思いだった。真実を報道するジャーナリストがいることに勇気付けられた。
- 改めて“原発”のおそろしさを知ることができた。生きる権利がきっちり行使される（する）ために。私たちがどのような姿勢で、どういった声を上げていったらいいのかわかりました。
- 広河氏が、最後の質問タイム直前におっしゃったこと、被害者の立場に立った考え方で、素晴らしいです。新聞記者さんへチクリも実直で、普段私も同じでした。（志をなり立ての頃は持っていたはず・・・）二度とこのようなジャーナリストはでないのではないかと・・・。（人々の知る権利に背中を押さされている）
- 生きる権利を全うするために「知る権利」がある。それを全うするのがジャーナリスト
- 司会者、会長のあいさつが長いです。広河氏の本が買えて良かったです。
- 久米島の保養所のとりくみ・・・はじめて知ることができた。放射線医学の御用学者たち・・・これほどまでひどいのか、と改めて感じた。広河氏のジャーナリストとしての生きる姿勢に感銘。
- 真実が伝えられていない現実本当に怒りが湧きます。真実を見抜く力をつけていきたいです。
- IAEA がいかに現状を否定してきたかがよくわかりました。日本政府が動かないのもわかりました。

4. この講演会を企画した“九条医療者の会かごしま”について、ご意見がありましたらお書きください。

- ・「はだしのゲン」の復刻版を出してほしい。
- ・初めて参加いたしました。とても良い会です。もっと真実を知ることができたらよいと思っています。
- ・良い講演会を企画して下さい、ありがとうございます。
- ・被害者に近いところにある講演者ゆえ、感銘をうけた。
- ・いまこそ9条の会！だなと思いました。さらに幅広い人たちといっしょに、9条・平和・命やくらしのことを考えていきたいです。医療者9条の会が各県に1つはできていくといいなと思いました。
- ・すばらしい講演会をありがとうございました。この地球上から、戦争、核兵器を失くし、すべての生命が平和に暮らし生き抜いていける社会を目指していきましょう。
- ・今後もよろしくお祈りします。
- ・医療従事者の皆さまの力はとても大きく、時には患者の人生を左右します。今回のような真実を話してくださる方を今後も招いて講演会を企画し続けて下さるようお願いいたします。有難うございました。
- ・すばらしい企画です。ありがとうございます。
- ・私たちにとって本当に必要な、そして大事な活動にいっしょうけんめいとりにくんでおられることに感謝したいと思います。
- ・九条の会の存在が社会にまだまだ知られていないように思います。(尖閣、竹島問題で国民に危機感を与えてコントロールされそう)
- ・大変有意義な講演会だと思います。これからもこうした機会を設けてほしいです。
- ・とてもよい講演会を企画していただきありがとうございます。運営その他大変だったと思います。お疲れ様でした。私は「原子力の平和利用」論は克服しなければならないと思いますが、どのようにお考えですか。また、今なぜ日本政府はあくまで原発を推進しようとしているとお考えですか。
- ・パンフレットの説明だけじゃまいちどういう集まりなのかわからない。
- ・このタイミングで広河氏の話が聞けて大変良かったです！よくぞ呼んで下さった、と感謝する気持ちです。
- ・ずっと鹿児島に住んでいるが、「九条の・・・」名前くらいしか聞いたことがなかった。医療に携わる人々が、放射能についてこんなに関心が強く、真剣に考えているのを知れた。一般の人に九条の会が広く伝わるような活動をしてほしい。
- ・なぜこの職業に限定してアンケートをとるのか、広く外の職業の方々も来ていると思うが。広く一般に呼びかけたのではないのか。“九電のやらせ”の手法と一緒にだ！医療者の視野のせまさと思い上がりを感じる。活動には賛同する者です。
- ・ありがたいです。今後もこのような機会がありましたら、学習したいです。ありがとうございます。
- ・よい講演でした有難うございました。はじめの合唱もよかったです。
- ・こういう機会をなるべく多く作ってください。ありがとうございます。
- ・貴重な講演をありがとうございました。原発をなくす、憲法を変えさせないという姿勢に共感しました。
- ・是非こういう企画を多くの場所で開催されることを期待します。
- ・昨年の中村医師の話では元気をいただきましたが、今回の話では、非常に重い課題をいただいた思いがします。その点では、医師としてのあり方を問われた思いです。ありがとうございます。
- ・大変いい学びの機会をいただきましてありがとうございます。権力の側に立たない医療者の方がたくさんいらっしゃることは心強いです。いっしょにがんばりたいです。
- ・福島原発事故の放射能被害についての(被災者に対しての)お医者さん方の声がほとんど聞こえてこない。九条医療者の会のお医者様方は積極的に医療者の立場から発言してほしい。お医者さん、弁護士、政治家、一番頑張らないといけない方々が・・・残念です。広河氏が最後におっしゃったとおりです。
- ・昨年の講演もよかったですので、本日も参加しました。今日も参加してよかったです。
- ・DAYS JAPANはずっと購読しています。広河さんのお話を直接うかがうことができ、感謝しています。